

日々初心



今年の竿燈まつりで。観覧しているのは、市との交流事業などで来秋した、東京都荒川区の中学生のみなさんら

市長コラム・日々初心

市長 ● 穂積 志(もとむ)

オリンピックピック・パラリンピックと「農福連携」

秋田の夏を彩る風物詩の土崎港曳山まつり、秋田竿燈まつり、雄物川花火大会で盛り上がったこの夏、国民をさらに熱くさせたりオデジャネイロ・オリンピックは、多くの勇気と感動を私たちに与えてくれました。今回も競技を終えた選手たちの言葉一つひとつに、何度も目頭が熱くなりました。苦難や挫折を乗り越えてつかんだ栄光、親や指導者への感謝、チームメイトとの友情、次代を担う後輩へのやさしい眼差しなど、名言がいくつも飛び出しています。

卓球女子団体銅メダルの福原愛選手。「(自分が)足を引っ張ってばかりでみんなに感謝している」「本当に苦しかった」自分の試合後は「全神経を(後輩の伊藤)美誠に注いだ」。個人としての重圧に加え、リーダーとしての責任感がひしひしと伝わってきました。また、残念ながらメダルをとれなくても自己ベストを更新した選手も多く、心から拍手を送りたいと思

います。4年後の東京オリンピックに向けて期待がふくらみます。そしてまもなく開幕するリオ・パラリンピック。このことについては、6月の全国市長会議の際の講演で興味深い話がありましたのでご紹介します。文部科学省オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議委員の吉本光宏先生が引用していた、車いすの天才科学者スティーヴン・ホーキング博士の言葉です。

要約すると、「私たちには一人として同じ人間はいません。私たちは同じ人間精神を分かち合っています。重要なことは、私たちに創造する能力があるということなのです。その創造力は、さまざまな形で表現することが可能です。パラリンピック競技は、アスリートのみなさんに、自分の限界を超え、自身の可能性を伸ばし、それぞれの分野で傑出した存在になるチャンスを提供します」。この言葉だけでパラリンピックの精神や

意義を語り尽くしているように思えます。これから繰り広げられる熱戦が今からとても楽しみですね。さて、障がいのあるかたの可能性を広げるといふ意味では、本市でも新たな試みがあります。「農福連携」―聞き慣れない言葉ですが、文字通り農業と福祉の連携です。自治体や農業法人、福祉関係者らによる「秋田市農福連携促進協議会」が設立され、休耕田などの活用、障がいのあるかたの就労・自立、そして家族の生きがいづくりなどを目的に、障がい者支援施設などと連携し、上新城や柳田、河辺地区では黒ニンニクの生産加工が始まっています。

元来、土いじり自体が人間に安らぎや癒やし効果があるという説もあり、収穫の喜びは経済的な価値に加え達成感や幸福をもたらします。本市としても、食と農、そして福祉の観点からこのような動きに対し、後押ししていければと考えています。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。

「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>

夏空の熱い太陽が照りつけるグラウンドで、白球を追う選手たちの少年のような表情が印象的でした。

戦争が終わって1年後に始まった「下浜ふるさと野球大会」は、地域のたくさんの人に支えられ、今年第70回を迎えました。

毎年お盆の時期の恒例行事に、県外から、この日のためだけに帰省する方もいるのだとか。まさに新旧世代を超えて、下浜を愛するみなさんが育んできた「ビッグイベント」です。

選手たちは、勝利をめざして真剣な表情で試合に臨みますが、いざ始まると、三振しても笑顔、エラーしても笑顔、ときに「愛情たっぷり」の味方からのヤジにはちょっと苦笑い。勝ち負けにこだわらず、旧友との親交を深めるのが何よりの楽しみです。

2日間の熱戦を終え、バットを担いでグラウンドをあとにするベテラン選手の「まだ来年年あ」のひとことに、みんなが「まだな」と、いつものように返します。

下浜ふるさと野球大会―地域の「宝物」はこれからもずっとみんなの手で、大事に受け継がれて行くことでしょう。

地域の絆は永遠に不滅です



下浜ふるさと野球大会には、出場選手の合計年齢が470歳以上の「エンジヨイカツプ」の部もあります。

こちらも

70回目の熱闘

8月4日～6日、エリアなかいちにぎわい広場で、「第70回竿燈妙技大会」が開催されました。

今年も力と技がぶつかり合い、気温30度を超す会場の暑さに負けにくい「熱い」戦いを繰り広げました。記念すべき70回大会の優勝は次のおりです。おめでとございます。

大若団体規定…馬口労町A

大若個人…伊藤貴博さん

(下米町一丁目)

大若団体自由…茨島

大若囃子方…秋田大学

小若団体規定…新屋

小若囃子方…馬口労町

大若団体規定の決勝戦。手前が優勝した馬口労町A

